

編集後記

- ◇ 新型コロナウイルスは、政府を挙げての取り組みによりワクチン接種が進む一方で、変異ウイルスの“デルタ株”による爆発的な感染拡大によって新たな段階に入りつつある。サツマイモの世界でも、2018年末に国内で初めて発生が報告されたサツマイモ基腐病が2020年には九州各県のほか高知県、静岡県、さらに今年の7月には関東の茨城県、千葉県でも発生報告が相次ぐなど、拡大の一途をたどっている。
- ◇ 本号No149ではジャガイモの主要病害と対策について特集を組み、抵抗性品種の育成を含むジャガイモシロシストセンチュウ対策の現状や将来展望などを紹介したところであるが、サツマイモ基腐病についても、各産地の生産管理担当者や種苗供給、流通・加工など様々な分野の関係者による情報共有と全国レベルでの関係機関の連携協力による対応が望まれるところである。
- ◇ いも類振興情報は本号で149号となり、膨大な量の貴重な記事が掲載されていることから、バックナンバーに掲載された記事の閲覧が可能となるようシステム開発を進めてきた。その結果、現時点では以下のサイトで、95号から144号までが閲覧可能となっている。

【いも類振興情報の記事閲覧システム】 <http://ebook-viewer.com/imoshin/>

この記事閲覧システムは、(公財)公益法人協会の情報公開共同サイトから、本誌の印刷会社である(株)丸井工文社のサーバーにリンクしており、総目次が表示されるだけでなく、ブラウザの検索機能を使用することにより、語句検索も可能であり、当該目次をクリックすると記事がPDFで表示される仕組みとなっているので、積極的に活用願いたい。

- ◇ いも類振興会の令和2年度第2回理事会は、令和3年3月26日に書面開催され、令和3年度の事業計画と収支予算書が了承された。次いで令和3年度第1回理事会が6月10日に書面開催され、令和2年度の事業報告書と決算書(案)が了承された。また、令和3年度定時評議員会が6月30日に書面開催され、令和2年度の事業報告書と決算書が承認されるとともに下記のとおり理事、監事が選任された。これを受けて、令和3年度臨時理事会が6月30日に三会堂ビルで開催され、理事長に矢野哲男、副理事長に泉澤直が選出された。
- ◇ 筆者は平成29年から4年間、いも類振興会の理事長を務めてきましたが、6月30日をもって退任しました。この間、いも類の生産振興や消費拡大に関する活動をはじめ、本誌の編集にあたっては読者の皆様から多くのご指導・支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

(鈴木昭二)

一般財団法人いも類振興会の役員名簿

(令和3年6月30日現在)

評議員(5名) 上野 幸一(再任)、小巻 克巳(再任)、根岸由紀子(再任)
丸山 恵史(再任)、山田 英次(再任)
理事(5名) 矢野 哲男(理事長・新任)、泉澤 直(副理事長・再任)
齊藤 浩一(再任)、野村 文昭(再任)、林 一也(再任)
監事(2名) 椎名隆次郎(再任)、片山 信浩(新任)

いも類振興情報 第149号

2021(令和3)年10月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社